立教大学ラテンアメリカ研究所 「第54回現代のラテンアメリカ」公開講演会





ブラジルのポップカルチャー テレノベラとポピュラー音楽を例として



インターネットの普及に伴い、テレノベラ(連続テレビドラマ)の視聴率は下がってきたが、 現在においてもブラジル人の多くにとっていまだに話題となるものであり、ブラジルを代表する ポップカルチャーの一つである。一方、ブラジルのポピュラー音楽はブラジルの政治・社会から 影響を受けながら、逆に、影響を与えたとも言える。そのため、ブラジルのポピュラー音楽を理 解することは、ブラジルの政治・社会の変化を理解することにも役に立つ。

本講演では、テレノベラの歴史や特徴、そこに現れるブラジル社会の変化について、またポピュラー音楽の概要や現代のブラジルにおいて最も人気を得ているブラジル音楽ジャンルについてを、いくつかの例を挙げながら説明し、ポピュラー音楽からブラジルの文化的な特徴をどのように読み解けるかを探り、更に海外におけるブラジル音楽のステレオタイプと国内においてのリアリティを比較する。

日時:2024年10月26日(土)17:30~19:10

場所:立教大学池袋キャンパス5号館5121教室

講師:マウロ・ネーヴェス氏

(上智大学外国語学部ポルトガル語学科教授)

申込フォーム

先着200名



問合先: 立教大学ラテンアメリカ研究所事務局 late-ken@rikkyo.ac.jp / 03-3985-2578